



各 位

平成 28 年 2 月 5 日

会 社 名 日 本 電 子 材 料 株 式 会 社  
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 風 間 悦 男  
(コード番号 6855 東証1部)  
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 門 統 括 部 長 足 立 安 孝  
電 話 0 6 ( 6 4 8 2 ) 2 0 0 7

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 11 月 4 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,800	850	770	510	48.16
今回修正予想 (B)	12,750	370	320	130	12.28
増減額 (B-A)	△50	△480	△450	△380	
増減率 (%)	△0.4	△56.5	△58.4	△74.5	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	12,193	663	798	788	74.45

#### 2. 修正理由

当社グループの主たる事業分野である半導体市場は、クラウドサービスの広がりによりデータセンター向けについては堅調に推移する一方で、スマートフォンやパソコンの需要の伸び悩み、および中国経済の減速等の影響により、先行きは不透明な状況で推移しております。

プローブカード市場につきましては、当社は中長期的には緩やかな成長基調が維持されると引き続き予想しており、特に DRAM および NAND 型フラッシュメモリー向けに注力した開発および設備投資を促進し、製品力と生産体制の強化を進めております。ただし、足元の状況は、ロジック向けは堅調に推移する一方で、メモリー向けは、スマートフォンやパソコンの販売不振および各社の在庫調整の影響を受けて受注が想定を下回っており、特に年明け以降 1-3 月は売上が大きく減少すること、および投資効果の表れは来期以降と見込んでいることから、通期の業績予想を上記のとおり修正いたします。なお、当社から子会社への売上が大きく減少しましたが、当社と子会社の 3 ヶ月間の決算期の相違により、売上高の修正は軽微となっております。

配当につきましては、年間 1 株当たり 14 円 (第 2 四半期末 7 円、期末 7 円) の予定に変更はありません。

注) 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上